

第26回 若林区 童謡 フェスティバル

レポート

● 開催日時	令和3年11月13日(土) 13:00から15:30まで
● 開催場所	仙台市若林区文化センターホール
● 来場者数	350人
● 主催	若林区文化センター・若林区中央市民センター

仙台ひと・まち交流財団30年の歴史とともに

若林区童謡フェスティバルは、お年寄りからお子様まで、誰もが一度は耳にしたことがあり、親しめる「童謡」の歌唱を通じ、市民の皆様の交流と地域の音楽文化の創造を目的として開催してまいりました。おかげさまで、地域の学校や音楽サークル、出演団体の皆様とともに創意工夫を重ねながら創り上げてきた合唱コンサートとして26回目を迎えることができました。

昨年度から新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、残念ながら、仙台市内においても多くの音楽催事が中止や延期となりましたが、若林区童謡フェスティバルは、収束後の音楽文化や芸術活動の継続性とありかたを見据えながら、適切な感染対策を講じての開催としました。

また、今回は、当センターを運営する、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団の設立30周年を記念しての開催とさせていただきます。公演には2組のゲストをお招きし、今まで以上に楽しい演奏や歌唱によるステージや、若林区中央市民センター共催事業として、写真展「わたしの好きな若林の風景-写真展」の併催など、地域の皆様とともに歩んできた仙台ひと・まち交流財団らしい、身近で温かなコンサートとなりました。

穏やかな秋の午後のひと時、懐かしい童謡の調べを十分にご堪能いただけたのではないのでしょうか。ご出演、ご協力いただいた皆様、ご来場いただきましたお客様、誠にありがとうございました。



宮城県仙台二華中学校★高等学校音楽部



中学生・高校生らしい、爽やかな歌声でオープニングを見事に飾ってくれました。

コロナ禍で活動に制約が多かった分のエネルギーを感じさせてくれました。

♪ 鳥かねもん勘三郎
♪ 通りゃんせ
♪ ねにゃもにゃ
♪ 一匁の市助さん

コールはまなす

コーラスを楽しみ、歌い続けられる幸せに感謝しながら、声を合わせ、心を合わせてこれからも歌い続けていきたいとおっしゃるコールはまなすの皆さん。

マスクを付けながらのステージとなりましたが、心一つになった美しい歌声が魅力的でした。

♪ 牧場の朝
♪ 叱られて
♪ 川
♪ 草原の別れ



聖和学園高等学校合唱部

今年は部員数も増え、ハーモニーを感じられる瞬間が少しずつ増えてきたことを、とても嬉しく思いながら臨んだステージ。

「新しいスタイルの合唱部を作ろう！」と結束力を高め、いろいろな演奏形態にチャレンジしながら楽しく活動している日々とのこと。

ウインドマシーンによる風の音の演出や、クリスマスソングは手持ちの鈴を鳴らしたりと、趣向を凝らしたステージで楽しませてくれました。



- ♪ おやすみ恋人よ
- ♪ 家路
- ♪ 童謡メドレー 「おとものがたり～秋から冬へ～」

30周年記念事業ナビゲーター 渡辺 祥子 さん 童謡フェスティバル司会 江澤さおり さん

30周年記念事業ナビゲーターの渡辺祥子さんが、童謡フェスティバルの司会を長年務められている江澤さおりさんに、童謡フェスティバルへの想いを聞きました。

江澤さんは、「小さい子からお年寄りの方まで、地域の方が幅広く出演してきた童謡フェスティバルのファンであり、司会として携われるのは毎回楽しみ」とおっしゃってくれました。



宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター



- ♪ いぬのおまわりさん
- ♪ ドロップスのうた
- ♪ サっちゃん
- ♪ 童謡メドレー
 - ★待ちぼうけ
 - ★ゆりかご
 - ★あめふり
 - ★ペチカ
 - ★あわて床屋
 - ★この道
 - ★からたちの花

30周年記念事業ゲストとしてお招きした宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター。宮城学院女子大学が培ってきた音楽力と社会を“つなぎ”（リエゾン liaison）、様々なかたちで音楽に関わる方同士を“つないで”、ともに豊かな音楽文化を創っていくために2016年に設けられました。甘美なソプラノの歌声・美しいフルート・ピアノが奏でる童謡の調べに観客の皆さんも一様に惹きつけられていました。

仙台童謡愛好会

- ♪ ゆかいに歩けば
- ♪ 花のまわりで
- ♪ びわ
- ♪ どんぐりころころ
- ♪ 野原で手をたたけ
- ♪ 地球はみんなの大合唱
- ♪ やぁ こんにちは
- ♪ そうさん～犬のおまわりさん
- ♪ ともだちできたよ
- ♪ かぞえうた
- ♪ にじのむこうに



前半は、黒いTシャツの合唱班の皆さんが心に優しく響く歌唱を披露し、後半はピンクのTシャツのHAPPY RABBITの皆さんが、たくさんの小道具を使った元気なステージで、お客様と一緒に会場を盛り上げてくれました。

アンコール

♪さよならのうた

仙台童謡愛好会の皆さんの観客参加型ステージの楽しさは、すっかり聴衆を巻き込んでアンコールの拍手となりました。HAPPY RABBITさんのMCと聴衆との拍手・手拍子によるコールアンドレスポンスに続き、最後に披露したのは「さよならのうた」。コンサートの最後に相応しく、みんなが笑顔で一つになって賑わった瞬間でした。



仙台ひと・まち交流財団30年のあゆみ

童謡フェスティバルの主催団体である（公財）仙台ひと・まち交流財団の30年のあゆみについて、写真パネルと映像放映で紹介しました。



わたしの好きな若林の風景-写真展



若林区の魅力を広めるため、市民の皆様が撮影された、若林区の、残したい・紹介したいお気に入りの風景の写真を1階ロビーとホワイエに展示しました。

季節ごとに表情を変え、また歴史を感じさせる様々な風景の写真を多くの皆様にお楽しみいただきました。

ご来場いただいたお客様へ



350人のお客様にご来場いただきました。ご来場者からは、「素晴らしい演奏に元気を頂きました」、「素晴らしい歌声に、コロナ禍のなか本当に癒されました」と言ったお声を頂戴するなど、大変ご満足いただいた様子でした。

若林区童謡フェスティバルをご覧にいらしていただき、また、出演者へのたくさんの拍手や温かい励ましのお言葉をありがとうございました。